

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる</li> </ul>	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる</li> <li>自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる</li> </ul>	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。</li> <li>社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。</li> </ul>	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる</li> <li>データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる</li> </ol>	
【思考力・判断力・表現力】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる</li> <li>自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる</li> </ol>	
【学びに向かう力・人間性】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている</li> <li>社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている</li> <li>社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている</li> </ol>	

授業日	4/24(水)	1 学期授業回数	体験授業
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・高1グローバル探究 BASIC の1年間の見通しを理解する。 ・問い作りにおける2つのポイントを意識して、問いを練り上げることができる。		
時間 授業内容	0分 05分 40分	9グループ（4人または3人）に分かれて自己紹介 共同ワークがテーマでもあることの説明 高1グローバル探究 BASIC 授業予定と授業目標 「これから私たちはどんな時代を生きるのか」の説明（ChatGPTのリスクを班で話し合い） 「これからどう生きるのか_人生100年時代」の説明 「なぜ探究学習なのか？探究とは何か？」の説明 問い立てワーク WORK1「写真をもとに、問いを3つ以上作ってください ～バーチャル卒業証書授与の例～」 問いづくりのポイント① 問いの観点を変える 問いづくりのポイント② 問いの規模・深度を変える WORK2「問いのブラッシュアップ ～ICTの進化は高校生にどのような影響を与えたか～」 WORK3「図表から課題を見つけ、問いを立てる」   左図は「鏡を見てどんな問いが浮かぶか」を説明。アインシュタインは16歳で「光の速さで自分が動いたら鏡はど映るのか」を問い立て、相対性理論を考えた。問い立ての重要性を説明している場面。  ① 班でA～Dの中から一つの図表を選ぶ(1分) ② 個人で5分間 問い出しをする(箇条書き、そのうちよいと思うもの2つに○をつける) ③ 班で出てきた問いを共有し、(時計回りに回す) ○がついている問いを、さらに練ってよりよい問いにする。 ④ ②で自分が作った問いを、メンバー/相手の案を参考にして、さらによい問いに書き換える。 まとめ	
評価方法	今回は体験授業のため、評価はなし		
宿題指示	体験授業のため、宿題等はなし。興味のある生徒は申込を提出する。		